

## 学外のFD関連組織について

**関西地区FD連絡協議会（略称：関西FD）**は、京都大学が文部科学省特別経費事業「大学教員教育研修のための相互研修型FD拠点形成」において展開したプロジェクトと関連して、2008年に発足しました。これは京都大学が学内・地域・全国・国際の4つのレベルでのFDネットワークの形成を企図したうちの「地域連携」レベルでのFD組織にあたります。これまで京都大学高等教育研究開発推進センターのセンター長以下専任教員が中心となって代表幹事校および事務局を務め、関西大学教育開発支援センター（以下関大CTLとする）も発足当初から幹事校として関与してきました。

2012年度末で上記の特別経費事業が終了し、また、2014年度末には京大センターの「教育関係共同利用拠点」認定も終了したことに伴い、文科省の財政援助はなくなりましたが、2015年度以降も、本協議会は活動を継続することになりました。今後の運営については、ワーキンググループ（大阪大学・大阪府立大学・関西大学・立命館大学・京都大学）での審議を受けて、先の総会（2015年5月23日）において新たな枠組みが提案され、1) 次期代表幹事校は大阪大学が務め（2年）、以後2年ごとに改選する、2) 事務局業務・Webサイト管理業務は外注する、3) 総会会場は代表幹事校が選定する、4) 会費は当面現在のままで必要に応じて値上げを検討する、等の決定がされました。

発足後7年を経て新たなスタートとなります。

また、**全国私立大学FD連携フォーラム（略称：JPFF）**は、全国の中規模以上の私立大学が連携してFDを推進することにより、日本の新しい「高等教育の質保証」標準を目指すことを旗印に、立命館大学の呼びかけで2008年に発足した組織で、こちらにも関大CTLは発足当初から幹事校として参加し、さまざまなFD事業に積極的に関与してきました。2011年度より文科省の補助を離れ、2013年度からは関西・関東の地域担当幹事校を置き、そのうち1校が代表幹事校という形に組織替えをし、関大CTLは西日本担当の幹事校、法政大学が東日本担当・代表幹事校を勤めて参りました。JPFFは、FDに関して同じような組織・運営上の悩みや問題点を抱える学生総数8000名以上規模の私立大学で成り立っていますので、活発な議論や実り多いワークショップ等が数多く開催され、関大CTLにとっても大いに刺激になる組織として関わっています。こちら先総会（2015年6月13日）において、次期代表幹事校・西日本担当幹事校は立命館大学、東日本担当幹事校が中央大学という新しい体制でスタートすることが決まりました。

新体制の関西FD、JPFFと協力して、今後も実りあるFD活動に取り組んで参ります。

（教育開発支援センター長 田中俊也）

## CTL今後の行事予定

教育開発支援センターでは、今年度も様々な行事を予定しています。教職員だけでなく、学生も対象としているものもあります。また、学外からのご参加もふるっでお待ち申し上げております。詳しくは、**教育開発支援センター Web サイト** (<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/>) 内「お知らせ」をご覧ください。

### ◆今後の行事予定(7月～)

日 程	タイトル(場所)	主な対象	概 要
7月1日(水)・8日(水)	Learning Café(コラボレーションcommons)	学生	相手にわかりやすく伝えるコツや考え方の整理手法を学ぶ
8月1日(土)	広がるアクティブ・ラーニング ～交渉学の挑戦～ (東京センター)	教職員・学生	アクティブ・ラーニングに関わるポスターセッションや、交渉学ワークショップの実施
10月3日(土)	第14回FDフォーラム(予定) (ラーニングcommons)	教職員	学習成果をどう評価するか? —評価課題とルーブリックの開発—(仮題)

※日程や場所などは変更になる可能性もあります。最新の情報は上記Webサイトでご確認ください。

**From CTL事務局**

この4月に現在の職務につき、CTL業務に関わることになりました。

先日、用事があり職場の書庫に足を踏み入れたところ、かつて担当した「関西大学一般教育等研究センター報」が配架されており、思わず手に取りページを繰ることがあります。一般教育等の改善に必要な調査・研究を行うことを目的としたこのセンターは、教育内容等の改善に向けた大学の組織的な取り組みの起点となった大学設置基準の大綱化(平成3年)、FDの努力義務化(平成11年)などの高等教育施策の流れのなか、平成12年に設置された全学共通教育推進機構に発展的に統合され、その中のFD部門・授業評価部門に関係業務が引き継がれることになりました。そして、平成13年には本学で初めて「学生による授業評価」アンケートの実施が実現しました。

さらには、FDフォーラム・新任教員オリエンテーション・公開授業週間の開催、「TAを活用した授業」の募集、公開授業ビデオの制作、広報誌の発行などの旺盛な活動があり、本学におけるFD活動の基礎が築かれました。

その後、私はこの業務の事務担当を離れましたが、平成20年に教育推進部が立ち上がり、同時にCTLが開設されます。また、同じ平成20年にFDが義務化されました。

CTLの7年にわたるご活動の成果と現在進行中の取り組みについて、この短期日で到底掴みきれぬものではありませんが、より多彩かつ高度化した各プロジェクトの現場を、これからは出来る限り目撃していきたいと念じています。

そのなかで、過日、学生相談・支援センターの協力による、ライティングラボTAの方たちを対象とした研修に同席させていただきました。日ごろ、学生を直

接指導するTAの方たちが熱心に受講される姿とその後の活発な質疑応答に感嘆するとともに、大学のもとにある専門的機関が有機的な連携を行い、効果をあげている一例ではないかと思ひ、紹介させていただきます。

ところで、現在の私の執務場所は第2学舎の授業支援ステーション内にあります。ここはかつて第2部学部事務室があったところです。室内を見まわすと、当時のなごりがいまま見受けられます。本学の第2部(夜間部)は平成6年に天六から千里山に移転し、昼夜開講制によるフレックスコース(夜間主コース)を経て、平成18年をもって募集停止となりました。天六キャンパスは昨年閉鎖されましたが、現在、年史編纂室にて企画展「さよなら天六学舎—85年の歴史展—」が開催中です。天六キャンパスを懐かしく思われる方のみならず、ご存知ない方にもぜひご覧いただきたいと思ひます。(澄)



**KANSAI UNIVERSITY**

**関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning**

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html>

発行日/2015年6月26日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター